

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
病院名	千葉県千葉リハビリテーションセンター
重点活動項目	<p>千葉県で今後必要とされる地域リハビリテーションの活動の基盤を確立すること、広域支援センターとの連携をより緊密にすることを念頭に下記4点を重点的に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の本事業のあり方についての検討 ・広域支援センター、県支援センター、県のとつながりの強化 ・ちば地域リハ・パートナー、窓口機能の整理 ・持ち上げないケア浸透、定着のための仕組みづくり

<p>1 広域支援センター支援（機能・役割：実施要綱第2の2ア・イ）</p> <p>ア 担当者会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地域リハ広域支援センター担当者連絡会議の開催（R5.6月、R6.3月予定） ・広域支援センターとの定期ミーティングの開催（1回/2か月） ・県との定期ミーティングの開催（1回/1か月） ・県が主催する会議・事業への協力 <p>イ その他の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターへの圏域訪問や各種相談への対応 ・広域支援センター主催事業への出席・協力（連絡協議会、パートナー会議、研修等）
<p>2 関係機関従事者の人材育成・情報共有等（同エ・オ・キ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内地域リハビリテーション関係機関への講師派遣や相談対応 ・地域リハビリテーション調整者養成研修の開催 ・災害に係る地域リハビリテーションのあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉 JRAT 事務局機能の充実、発災時の人員派遣体制の構築、人材育成 ・県主催の防災訓練への参加（9月予定） 等
<p>3 普及・啓発（同カ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ちば 2023 の開催 （同時開催 第17回千葉県地域リハビリテーションフォーラム。令和5年6月予定） ・千葉県全域を対象とした意見交換会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・二次保健医療圏域を超えた地域リハ関係機関、関係者同士のつながりづくり ・持ち上げないケア浸透の仕組みづくり

- 県内外のリハ資源に関する情報収集
- ホームページ、メーリングリストの整備・更新
- その他

4 その他（同ウ他）

- 他の府県リハビリテーション支援センターとの意見交換、協働の検討

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	千葉 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	医療法人社団 淳英会 おゆみの中央病院
重点活動項目	○地域医療機関及び介護施設、ちば地域リハ・パートナーとの協働を通し、地域の通いの場との連携、住民を主体とする介護予防の活性化、地域の課題解決に向けた取り組みを行う ○リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 ○障がい者スポーツの普及(ボッチャ)

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会

- ・千葉地域リハビリテーション連絡協議会 1回

令和6年2月開催予定(Web形式)

対象:千葉県健康づくり支援課、千葉市地域包括ケア推進課、千葉市健康推進課、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等

内容:当センターの今年度の取り組みについて、地域リハビリテーション活動支援事業について、その他

イ その他の会議

- ・千葉地域リハ・パートナー会議 2回

令和5年7月、令和6年3月開催予定(Web形式)

対象:ちば地域リハ・パートナー、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等

- ・千葉市リハビリテーション連絡会 1回

令和5年9月開催予定(Web形式)

対象:市内リハビリ職種等

地域包括支援センターの地域課題に対するニーズを掘り起こす為、通いの場への専門職活用の事例を情報共有するなどし、リハ・パートナーと地域包括支援センターを含めて「地域リハビリテーション活動支援事業(千葉市)」の共通理解を深める。また、体力測定や体操指導のマニュアルの整備などにより、経験の浅いリハ・パートナーが地域に出やすい環境を整えとともに、区内の医療・介護機関のスタッフ同士が気軽に相談できる関係性の構築を目指す。

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ・「地域リハビリテーション活動支援事業(千葉市)」への専門職派遣調整
- ・地域ケア会議及び多職種連携会議におけるリハビリ専門職派遣調整

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

介護事業所・地域包括支援センター等へのリハビリに関する相談支援等

- ・上記事業所及びセンター等は、当広域支援センターの相談支援体制を把握していないことが考えられるため、まずは当広域支援センターを知っていただくための広報及び周知活動に注力する。
- ・電話(専用回線)、メール(専用アドレス)等による相談に随時対応すると共に、必要に応じて各区の関係機関へ繋ぐ形としたい。
- ・リハ・パートナー会議等で事例を共有し、協力いただける関係機関との連携を構築していく。

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・千葉市回りハ有志の会 2回

令和5年10月、令和6年1月開催予定(Web形式)

千葉市内の回復期病棟を持つ医療機関同士で情報共有(各施設の取り組みなど)や、管理者のみだけでなく若手スタッフも含めて交流することで、セラピストの育成やスタッフ同士が気軽に相談できる関係性の構築を目指す。

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容: 地域からの依頼に応じて、医療・介護専門職の派遣調整を行う。

(再掲)

「千葉市地域リハビリテーション活動支援事業(千葉市)(一部)」

地域の通いの場への支援依頼が増加している。しかしながら未だ地域差も大きい。このため、地域包括支援センターの地域課題に対するニーズをさらに掘り起こす為、通いの場への専門職活用の事例を情報共有するなどし、リハ・パートナーと地域包括支援センターを含めて「地域リハビリテーション活動支援事業(千葉市)」への共通理解を深める。

また、地域からの健康教室等の依頼を積極的に受け専門職を派遣していく。

(⑦) 内容: 障がい者スポーツの普及

令和4年度は地域の通いの場からのボッチャ体験会について依頼が増加した。住民からの希望として、体験会後も参加者自身でボッチャを継続して行いたいという声が増加している。普及活動とともに、自立支援の面でも推進していく。

(⑧) 内容:

- ・地域リハビリテーション出前講座

依頼があった際には、基本的な感染対策に配慮し対応していく。

- ・模擬地域ケア会議

リハ・パートナーの中には地域における支援経験が少ない事業所もあり、支援の場や地域ケア会

議などにおいて、どのように対応したら良いのか分からず不安という声がある。そのため研修として模擬地域ケア会議を実施することで、どのように会議が進んでいくのかをイメージしてもらうことを考えている。併せて、模擬事例を通して支援についての考え方や方法について理解を深めていただく機会としたい。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	東葛南部圏域 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	新八千代病院
重点活動項目	<ul style="list-style-type: none">・各市の実情に応じて地域支援事業等の窓口機能について、リハビリ専門職の協議体、パートナー、広域支援センターの役割を整理する。・各市の障害福祉領域における広域支援センターの役割を検討する
1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築	
ア 連絡協議会	
年1回開催 (R6.1月)	
参集範囲：医療・介護機関、圏域内市町村、地域リハビリ協議体	
イ その他の会議	
<ul style="list-style-type: none">・ちば地域リハ・パートナー会議の開催 (年1回) 概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換等・地域リハビリテーション協議会 (千葉県主催) の参加・地域リハビリテーション担当者連絡会議の参加 (県支援センター主催)・地域リハビリテーション担当者意見交換会の参加 (県支援センター主催)・各種地域リハビリテーション協議体主催会議の参加・協力・東葛南部圏域地域リハビリテーション広域支援センター会議 (年12回)	

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

1) 市川市への事業協力

- ①市川市担当課との連携・協力
- ②市川市リハビリテーション協議会との連携・協力

2) 習志野市への事業協力

- ①習志野市担当課との連携・協力
- ②習志野市リハビリテーション協議会との連携・協力

3) 船橋市への事業協力

- ①船橋市担当課との連携・協力
- ②船橋市地域リハビリテーション拠点事業との連携・協力

4) 八千代市への事業協力

- ①八千代市担当課との連携・協力
- ②八千代市在宅医療・介護連携支援センターとの連携・協力
- ③八千代市リハビリテーション協議会との連携・協力

5) 鎌ヶ谷市への事業協力

- ①鎌ヶ谷市担当課との連携・協力
- ②鎌ヶ谷市地域リハビリ活動支援事業実施機関との連携・協力

6) 浦安市への事業協力

- ①浦安市担当課との連携・協力
- ②浦安市リハビリテーション連絡会との連携・協力

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 a. 介護施設、在宅医療・介護現場向けのオンラインによるミールラウンドを通じた

摂食嚥下研修会

対象：圏域内介護施設

- b. ケアマネジャー・地域包括支援センターに対する相談支援
- c. 圏域内保健所・保健センターとの相談支援
- d. 歯科医師会との医科歯科連携事業の支援
- e. 地域リハビリテーション出前講座
- f. 小学生・中学生の職場体験受入
- g. 相談窓口の設置（随時受付、適宜地域リハ・パートナーにつなげる）

- ④研修等の実施を通じた協働促進
- ・地域リハビリに関わる研修会の開催（年1～2回）
 対象：地域リハビリ協議体、ちば地域リハ・パートナー、行政担当課、
 地域リハビリに関わる医療・介護職
 - ・八千代市医師会脳卒中地域連携講演会（R5.10月上旬）
 題目：未定
 講師/座長：未定（八千代市医師会より選出）
 対象：医療・介護機関対象
 - ・東葛南部圏域認知症セミナーの協力（年2回）
 対象：一般市民対象
 内容：認知症について
 - ・地域リハビリに関連協議体が主催する研修会開催の協力
 - ・(再掲)地域リハビリテーション出前講座、小学生・中学生の職場体験受入

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入 ↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：

- ・(再掲)地域リハビリ関連協議体に対する運営協力
- ・会議・研修会等の参加・支援

(⑧) 内容：

- ・行政担当課より障害領域の現状について調査し、関係機関と意見交換を行う

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。 ※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	東葛北部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	旭神経内科リハビリテーション病院
重点活動項目	コロナ禍の住民の健康増進・介護予防等の取組支援を行うべく、地域リハビリボランティアの育成と活用を行っていく 地域リハ・パートナーとの共働を実践する

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 日時：R5. 8. 18 場所：WEB 開催 対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー 内容：未定 (認知症疾患医療センターと共催) イ その他の会議 ちば地域リハ・パートナー会議 日時：未定 (R6. 2月頃予定) 場所：WEB 開催 対象：東葛北部圏域のちば地域リハ・パートナー施設担当者 内容：今年度の実績報告、来年度の事業計画、情報提供、意見交換
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナー協業のコーディネート 東葛北部圏域の各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナーの意見交換会を実施し、介護予防の体操教室などへのアドバイス、体操教室へのスタッフ派遣などの協業体制のコーディネートを行う。 ・オンライン通いの場実施の検討 リハビリのミニ講座やレクリエーション・介護予防教室のオンライン配信を試行し、オンライン通いの場の実現へ向けた調整を検討していく。 ・集団リハビリの効果の周知 介護予防・認知症予防教室での集団活動の効果について、前記連絡協議会やリハパートナー会議にて周知を図る。

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・研修会を利用したリハビリに関する相談支援
 研修会事前アンケートにて相談内容を把握
 研修会での質疑応答対応および相談内容へのフォローアップ
- ・情報共有システムの共有
 ちば地域リハ・パートナー向け研修会などの情報発信
- ・地域ボランティアからのリハビリ相談窓口調整
 地域ボランティアとちば地域リハ・パートナーとのマッチングを行い、リハビリ相談がしやすい環境の構築を目指す

④ 研修等の実施を通じた協働促進

研修会

- ・地域の医療機関、リハビリ施設や関係機関の職員等を対象として、リハビリに関する知識及び技術向上と施設内での共有を行うリーダーの育成、関連機関同士の連携の充実等を目的とした研修会、講演会を開催する
- ・研修参加者にオンラインシステムの扱いに慣れるための場を提供するため、同内容のオンライン研修も開催する

生活リハビリ普及員

①フォローアップ研修

- ・昨年度までに養成研修を終えた地域リハビリボランティア（「生活リハビリ普及員」）に対して、フォローアップ研修を行ない、継続して地域リハビリボランティアとして活躍できるよう育成を行っていく。
- ・本研修を地域リハ・パートナーも所属の市で行えるよう本研修への参加依頼を行っていく。

日程	内容
1 R5. 7. (オンライン) R5. 7. (集合)	「腰痛予防」
2 R5. 9. (オンライン) R5. 9. (集合)	「肩こり」
3 R5. 11. (オンライン) R5. 11. (集合)	「傾聴」

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧い
 ずれかを
 記入
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：

- ・(再掲)「生活リハビリ普及員」向けオンラインプログラム・研修の提供
- ・(再掲) オンライン通いの場の実施検討

(⑥) 内容：

- ・(再掲) 各市役所・地域包括支援センターとリハ・パートナー協業のコーディネート
- ・松戸市通所型元気応援くらの希望グループへの健康度測定

(リハ・パートナーとの協業)

日時：R5. 4. 11・14、R5. 7、R5. 10、R6. 1（予定）

対象：小金原元気くらぶ

小金原 6-7 元気くらぶ

リリッシュくらぶ（旧栗ヶ沢自治会；昨年度より登録）

場所：上記各くらぶ活動実施会場

・介護予防・認知症予防教室支援

日時：R5. 5. 23、10. 24、R6. 3. 26（予定）

対象：小金原元気くらぶ

小金原 6-7 元気くらぶ

場所：上記各くらぶ活動実施会場

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動項目	○圏域内7市2町・関係機関との事業協力強化 ・健康増進・介護予防の取組支援（研修会、従事者協働促進、相談支援） ・現状把握と課題に対する取り組みに関する連携強化 ・リハ・パートナー施設との連携・活動充実 ○各市村での(仮称)療法士連絡会の設立

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 参集範囲；圏域内市町村、地域包括支援センター、リハ・パートナーなど 印旛地域広域支援センター連絡協議会の継続 議題；広域支援センター事業計画、ちば地域リハ・パートナー会議からの提議事項 圏域内のリハビリテーション資源についての情報交換 開催頻度；年1回を予定 イ その他の会議 (1)ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲；圏域内 ちば地域リハ・パートナー 内容；活動説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換(近隣市町村別)、 各病院・施設が抱えている問題、課題に対する検討 開催回数；年2回を予定(状況に応じ随時開催) (2)各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士、介護予防に関わる療法士連絡会 の設置に向けた意見交換会 参集範囲；圏域内各市 地域リハビリ担当者 内容；療法士連絡会設置の必要性の把握と設立に対する相談、助言など (3)地域包括支援センター職員とリハ職との意見交換会 参集範囲；地域包括支援センター職員と在宅リハビリテーションに関わる療法士 内容；名刺交換会と地域見える化システムを通じた公表数値の情報提供と共有

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力
<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハに関わるニーズの把握（市町村担当課へ聞き取り、アンケート等） ・市町村事業・会議へ積極的に参加し、活動寄与すると共に地域の情報収集・ニーズ把握 ・地域包括支援センター主催の介護予防事業の協力（講師派遣、調整協力） ・介護予防事業へのPT・OT・ST等の派遣 ・地域ケア会議等へのPT・OT・ST等の派遣（意見交換） ・車椅子出前講座依頼への協力（講義内容検討、講師派遣、リハ・パートナー調整）
③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 随時電話・メール相談 ・療法士コミュニティの紹介 ・リハ・パートナーの協力を得て、活動支援・相談支援を推進
④ 研修等の実施を通じた協働促進
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会・講演会開催（医療・介護職、一般市民向けに専門的または一般的なテーマで実施）
2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業
<p>⑤～⑧いずれかを記入 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
(⑥) 内容：定期的な一般住民向け運動指導、健康講話、体力測定の実施
(⑦) 内容：(再掲) 地域ケア個別会議への参加
(⑧) 内容：(再掲) 医療に加えて、各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士、介護予防に関わる療法士連絡会の設置

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式) 令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業
実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	香取海匝 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	地方独立行政法人 総合病院 国保 旭中央病院
重点活動 項目	① 市町村事業への協力 ② 各研修会の開催形式・内容の再検討
1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築	
ア 連絡協議会	
<ul style="list-style-type: none"> ・年1回開催(3月) 参集範囲: 圏域内地域包括支援センター、保健所、地域リハ・パートナー他 	
イ その他の会議	
<ul style="list-style-type: none"> ・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議 年2回(6月、3月) ・生活期リハ支援班会議 年2回 ・地域ネットワーク支援班 会議 年6回 ・旭市リハ専門職連絡会(仮称) 年3回 	
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業支援 ・地域ケア個別会議への専門職派遣 等 <p>《 ・地域リハビリテーション活動支援事業(旭市) 》</p>	
③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに関する相談対応 ・講師派遣(研修会・相談支援等) ・出前講座 	
④研修等の実施を通じた協働促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション講演会: 12月 ・生活期リハ研修会 年2回(9月、1月) ・高次脳機能障害支援研修会: 11月 ・地域ケア会議助言者向け意見交換会 	

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：

- ・「障害者交流会 和希楽会」運営支援
 - ・令和4年度和希楽会全体集会：6月11日
会場：匝瑳市内
内容：講演「障がい者目線で考える地域づくり」
地域の障がい者団体・サークル紹介 等
 - ・和希楽会ニュース発行（年2回）：第26号（9月）、第27号（3月）
 - ・マッチング活動
（散歩、釣り、公園散歩、障がい者ゴルフ、オンライン交流会）
 - ・他団体イベントへの参加

(⑥) 内容：

- ・地域住民を対象とした出前講座等への講師派遣

(⑧) 内容：

- ・広報活動（ホームページ）
- ・地域リハビリテーション出前講座への講師派遣（小学生対象）
- ・各種会議・研修会等への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	山武長生夷隅 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	九十九里病院
重点活動項目	① 圏域内17市町村等との顔の見えるネットワーク強化 ② ちば地域リハ・パートナーとの協働促進 ③ 「地域を知る」取り組み推進

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 参集範囲：圏域内医師会・歯科医師会・市町村・高齢協・老健協会・ヘルパー協会・訪看協会・中核地域生活支援センター・保健所、県庁、県リハ、ちば地域リハ・パートナー 議題：山長夷地域リハ広域支援センター活動報告・事業計画・経過報告等 開催回数：年2回（第1回：令和5年7月、第2回：令和6年3月） イ その他の会議 ● ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲：ちば地域リハ・パートナー 内容：意見交換等 開催回数：年12回
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ● 地域リハビリテーション活動支援事業等 【通いの場】 ・横芝光町：きらり若返り運動での体力測定・結果返却（12回/年） ・長柄町：体操へのアドバイス（3回/年） その他、要請に応じて対応 【地域ケア会議】 ・横芝光町：助言者（1回/月） ・白子町：助言者（3回/年） ・山武市：助言者（3回/年） ・長生村：助言者（数回/年） ・いすみ市：オブザーバー等（5回/年） その他、要請に応じて対応 ● 介護予防・生活支援サービス事業 ・九十九里町：通所型サービスC（36回/年） ・長生村：通所型サービスCモデル事業（1回/週） その他、要請に応じて対応

<p>③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東金市：1歳半健診での子育て相談（10回/年） ● 随時、電話等での相談を受け付け対応
<p>④ 研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意見交換会 参集範囲：市町村、地域包括支援センター、ちば地域リハ・パートナー 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：1回/年 ● 市民公開講座 参集範囲：地域住民等 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：1回/年 ● 地域リハビリテーション勉強会 参集範囲：圏域内専門職 内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討 開催回数：1～2回/年 ● 出前講座（開催回数未定）
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <p>⑤～⑧いずれかを記入 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>（ ⑤ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶まわりおよびアンケート調査（4・5月） ● 地域住民からのヒアリング（随時） <p>地域ケア会議、研修などでの地域の実状把握（会議出席、開催時）</p>
<p>（ ⑥ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山武市：自主グループでの講演（2回/年） ● 山武市：健康教室での体力測定、体操指導（12回/年） ● パラスポーツ協働（1回/月） <p>その他、要請に応じて対応</p>
<p>（ ⑦ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同行訪問（随時） ● 「その他、要請に応じて対応
<p>（ ⑧ ）内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山武がつながるネットワークの会議・研修への参加（1回/月） ● 地域リハビリテーション関連研修・会議等への参加（随時） ● 災害時の地域リハビリテーション活動（随時） <p>その他、要請に応じて対応</p>

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	安房 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	亀田総合病院
重点活動項目	地域の実情把握と地域への啓発 コロナ禍の状況に合わせた地域リハ活動の推進

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築
ア 連絡協議会 連絡協議会の開催 目標) 広域支援センターの活動に理解を促すとともに協力を依頼 計画) 広域支援センターの活動の見直し・再構築し、会議開催を実施。
イ その他の会議
1) 地域リハ・パートナー会議 目標) 広域支援センターの活動に理解を促し、可能な範囲での協力を依頼 計画) オンラインを活用しての開催を実施
2) 広域支援センター内での地域リハ委員の活動 目標) 広域支援センターの計画をもとに、企画立案を行う 計画) 定期的な会議を開催し、研修等の準備を行う
3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭・企画会議 目標) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭を開催のための企画立案 計画) 企画委員(広域・広域外)により、月1回程度会議を開催
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力
②-1) 介護予防事業への協力 目標) 介護予防事業を通じて、市町村との協力関係構築、住民への支援を行う 計画) 協力依頼に応じて市町村と調整し、企画作成や講師派遣を行う。
②-2) 地域の理解

目標) 地域の実情把握の調査を実施し、地域課題を関係機関と共有する。

計画) アンケート調査や結果の配信等を行っていく。

② - 3) 市町村の活動への協力

目標) 市町村の活動に対して、協力や支援を実施する。

計画) 依頼内容を確認し、対応可能かを検討・対応する。

②-4) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 企画～開催を実施

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

③ - 1) 相談に対する対応

目標) 広域支援センターの機能を鑑みながら、寄せられる相談に対応していく。

計画) 寄せられた相談については内容を精査し、対応を実施していく。

③ - 2) 介護保険領域の事業所とリハビリテーション職種の連携

目標) 介護保険領域の事業所へのリハビリ職種の知識・技術を提供し、介護に活かす

計画) 勉強会を通して理解の促進。介護保険算定等につながる体制を構築

③ - 3) 定期的な学習機会の提供

目標) オンラインを活用して、地域リハの理解、地域資源の情報共有を図る

計画) 医療、福祉、介護職にオンライン上で研修会の配信

③ - 4) 出張講習会

目標) 地域の事業所に出向いての講習会を開催し、事業所の質向上を貢献する

計画) 地域の事業所からの要望に合わせて、講師を派遣し情報提供を行う

③ - 3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催 (再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 企画～開催を実施

④ 研修等の実施を通じた協働促進

④-1) 地域の理解 (再掲)

目標) 地域の現状を知り、地域の状況を鑑みながら活動できるリハ専門職を増やす

計画) リハ専門職を主の対象とした勉強会を開催。

④-2) 介護保険領域の事業所とリハビリテーション職種の連携 (再掲)

目標) 介護保険領域の事業所へのリハビリ職種の知識・技術を提供し、介護に活かす

計画) 勉強会を通して理解の促進。介護保険算定等につながる体制を構築

④-3) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催 (再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 企画～開催を実施

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧いずれかを記入 ↓
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑦) 内容：

⑦-1) 広域支援センターの活動を発信

目標) 広域の活動を発信し、活動への理解や協力、参加を促進する

計画) ホームページの運用を開始し、情報発信を行っていく。

⑦-2) 介護保険領域の事業所とリハビリテーション職種の連携 (再掲)

目標) 介護保険領域の事業所へのリハビリ職種の知識・技術を提供し、介護に活かす

計画) 勉強会を通して理解の促進。介護保険算定等につながる体制を構築

(⑧) 内容：情報発信の進めていく

⑧-1) 広域支援センターの活動を発信

目標) 広域の活動を発信し、活動への理解や協力、参加を促進する

計画) ホームページの運用を開始し、情報発信を行っていく。

⑧-2) 企業等と協力しての研修会等の企画

目標) 地域作りの一環として、企業と協力しながら、企画を遂行していく

計画) 企業と協力してのイベントを開催

⑧-3) 定期的な学習機会の提供

目標) オンラインを活用して、地域リハの理解、地域資源の情報共有を図る

計画) 医療、福祉、介護職にオンライン上で研修会の配信

⑧-4) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催 (再掲)

目標) 地域の様々な方々に知る・発信する・体験する機会を提供する

計画) 企画～開催を実施

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	君津 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	国保直営総合病院 君津中央病院
重点活動項目	<p>【地域リハビリテーションネットワークの強化】</p> <p>〈地域リハ・パートナー会議／君津地域リハ行政意見交換会〉</p> <p>地域リハ・パートナー会議とは、地域リハビリテーションに関する問題やそれに対する事業を共に検討し、解決する取組が行えるための連携強化を図る活動</p> <p>君津地域リハ行政意見交換会とは、顔の見える関係を構築し、地域リハビリテーションに関する問題の共有やそれに対する活動における相互支援が行えるための連携強化を図る活動</p>
1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業	
<p>①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <p>開催回数：年2回開催予定</p> <p>実施方法：書面開催</p> <p>参集団体：構成4市の高齢者福祉課・介護福祉課及び社会福祉協議会、君津健康福祉センター、医師会、歯科医師会、介護福祉士会、介護支援専門員協議会、薬剤師会、栄養士会、老人福祉士施設連絡協議会、訪問看護ステーション協会、君津圏域PT・OT・ST連絡協議会</p> <p>イ その他の会議</p> <p>ア) 地域リハ・パートナー会議</p> <p>開催回数：年3回開催予定</p> <p>実施方法：オンラインを予定</p> <p>参集団体：君津地域リハ・パートナー</p> <p>イ) 県及び千葉県リハビリテーション支援センター主催会議への出席</p> <p>ウ) 君津地域リハ行政意見交換会</p> <p>開催回数：年2回開催予定</p> <p>参集団体：構成4市の高齢者担当課</p>	

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

当圏域に関連する団体から地域ケア会議、介護予防事業への協力依頼があった場合には、地域リハ・パートナーの派遣を含め、人員調整を行う。

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援施設向け出張研修

下記ア～クのテーマについて依頼があった場合に研修を行う。なお、実施方法については、依頼元の相談の上、対面形式又はオンラインにて対応する。

- ア. 腰痛予防体操と環境整備
- イ. 自立を促すリハビリ体操
- ウ. 認知症サポーター養成講座
- エ. 認知症予防体操研修
- オ. すぐに役立つ会話の技術～失語症を中心に～
- カ. 早く気づこう嚥下障害
- キ. 難聴と認知症
- ク. その他（上記以外のテーマについても個別に相談対応）

④研修等の実施を通じた協働促進

君津地域リハビリテーション研修会

地域リハビリテーションの必要性や可能性を広く知ってもらうことを目的に、君津圏域の地域リハビリテーションに関わる職種や団体を対象とした対面式の研修会を開催する。

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入



- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

【地域診断で得られた君津圏域の課題】

- ・生活習慣に関する問題点：「高血圧」，「肥満」，「糖尿病」が多い
- ・介護に関する問題点
1次予防：「脳血管障害」，「心疾患」，「筋骨格疾患」の要介護者が多い
2次予防：「運動器」，「口腔」，「認知」機能低下の要介護者が多い

【取組】

きみフェス!!2023

実施方法：対面及びアーカイブ配信のハイブリッド形式

テ ー マ：「壮年層からの健康づくり～肥満の予防・改善～」

内 容：肥満に関する講演（医師、コメディカルの2講演を予定）

コメディカルによる健康チェック

- ・肥満に関する測定
- ・健康増進や介護予防に関する測定

地域リハに関わる情報紹介ブースの設置

(⑥) 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

〈再掲〉きみフェス!!2023

実施方法：対面及びアーカイブ配信のハイブリッド形式

テ ー マ：「壮年層からの健康づくり～肥満の予防・改善～」

内 容：肥満に関する講演（医師、コメディカルの2講演を予定）

コメディカルによる健康チェック

- ・肥満に関する測定
- ・健康増進や介護予防に関する測定

地域リハに関わる情報紹介ブースの設置

(⑦) 内容：資源の少ない領域の支援体制の構築

小児連携の会（コアラの会）の活動支援

新型コロナウイルス感染症流行前に開催していた、君津圏域の小児に関わる団体との情報交換会を開催予定。

(⑧) 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

ア．出前講座

圏域内の小学校から依頼があった場合に、地域リハビリテーションやリハビリテーションの仕事についての講座を行う。なお、実施方法については、依頼元と相談の上、対面形式又はオンラインにて対応する。

イ．災害リハ

有事の際に広域支援センターが行えることを確認するための情報を収集し、必要に応じて体制を整えていく。

ウ．運営会議

広域支援センター事業の企画や運営を円滑に行うことを目的に、広域支援センター担当者にて定期的に会議を行う。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	市原 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	白金整形外科病院
重点活動項目	5類変更後の地域活動への対応（対面により活動の再開） 住民直接依頼案件への支援体制の構築

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 年1回実施予定 参集範囲：市原市内の保健所・行政・医療機関・介護事業所・地域包括支援センターなど イ その他の会議 地域リハ・パートナー会議 状況に応じて適宜実施。4/17 実施予定 ちーき会（年12回実施予定） 6月以降対面開催を視野に入れ、感染状況に応じてオンラインと対面開催を併用する
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 介護予防事業（通いの場）への支援 保健センターフレイル事業への支援 自立支援型地域ケア会議への支援 研修会の開催支援など
③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 保健所への支援 要望に応じて適宜対応 地域包括支援センターへの支援 リハビリテーション相談事業への取組 介護予防事業への講師派遣 など 市原認知症対策連絡協議会への協力支援 各種会議、イベントへの参加・協力

④ 研修等の実施を通じた協働促進

市原市リハビリテーション専門職研修会

尺を伸ばして年2回実施に変更

(再掲)ちいき会での情報提供・講演の実施

(再掲)包括支援センターからの講師派遣依頼への対応

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(5) 内容：地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

(再掲)ちいき会実施による地域課題の抽出・課題検討

(6) 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

住民依頼による通いの場や集会所におけるタオル体操の実施

(7) 内容：資源が少ない領域の支援体制の構築

市町村の福祉総合相談への支援

小児・災害分野での連携づくりの再開

(8) 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

県支援センター主催事業への協力・支援

広報活動（ホームページ等）

その他依頼のあった支援活動への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。